

輸出事業計画

※申請者名：ホクレン農業協同組合連合会、品目：鶏卵

1. 輸出における現状と課題

【現状】

平成6年より香港向け鶏卵輸出を継続。安全性・品質・鮮度への評価は高く、令和8年3月の現地協議でも供給再開・数量拡大の要望を確認。国内需要縮小を見据え、札幌鶏卵流通センターの新設更新を契機に、香港向け輸出の回復・拡大に加え新たにシンガポール市場への展開を図る。

【課題】

- ①輸出向け供給能力の不足
- ②施設老朽化による生産性低下
- ③鳥インフルエンザ発生リスクへの対応
- ④シンガポール向け輸出体制の整備・ブランド価値向上

2. 輸出事業計画の取組内容

①輸出向け供給能力の強化

令和9年3月に札幌鶏卵流通センター新設工事を完了し、令和9年度から新施設が稼働。洗卵能力を毎時66,000卵→120,000卵、年間処理能力を5,000t→13,000tへ規模拡大。

②生産性向上及び衛生管理体制の強化

自動包装設備等の最新設備を導入し省力化・生産性向上を推進。HACCPに基づく衛生管理体制及びトレーサビリティを強化し、高品質な鶏卵を安定供給。

③鳥インフルエンザ発生リスクへの対応

原卵調達先を多元化し、全農グループとの連携による産地互換の仕組みを活用。輸出停止措置解除後は速やかに供給を回復し、海外取引先との取引関係を維持。

④シンガポール向け輸出体制の整備及び販路拡大

北海道庁・農林水産省等と連携し、サルモネラ検査等の輸出認定取得手続きを推進。ホクレン通商と連携した商談・プロモーションで北海道産鶏卵のブランド価値向上と販路拡大を図る。

輸出事業計画

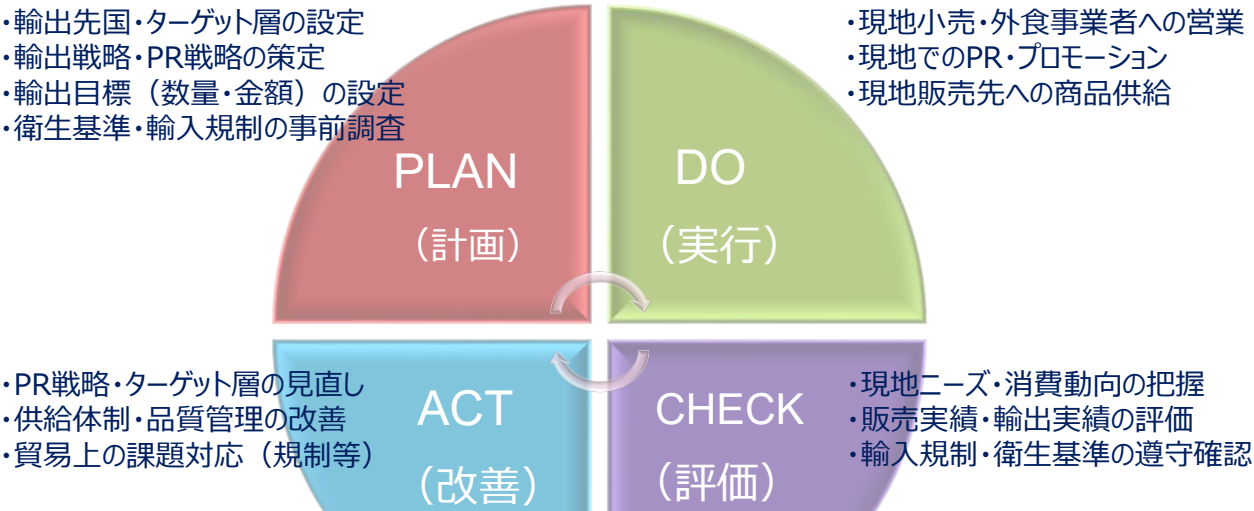
※申請者名：ホクレン農業協同組合連合会、品目：鶏卵

3. 輸出事業の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

【輸出事業の商流】



【輸出事業のPDCA実施サイクル】 ホクレンがホクレン通商と連携して推進



【連携機関】 北海道庁・農林水産省・家畜保健衛生所・ホクレン通商・全農グループ
(輸出認定取得、衛生管理及び産地互換による安定供給体制の構築を支援)

4. 輸出目標額

(輸出品目：鶏卵)

	現状（令和6年）	目標年（令和13年）	備考
輸出額（千円）	22,000	176,000	札幌鶏卵流通センター新設更新による供給力強化
輸出量（kg）	82,000	650,000	
輸出先国	香港	香港・シンガポール	